

加藤精工株式会社

所在地：愛知県刈谷市 設立：1960年 資本金：5,000万円 従業員数：226名
事業概要：自動車部品・鉄道部品・住宅関連部品の提案・製造

社員の声に耳を傾けて制度改革 多様性を認める職場で知名度もアップ



代表取締役
加藤 聡人

取組の内容

- 既にカミングアウトをしていた社員の存在により、LGBTQの認識が自然醸成されていた。しかし、2017年の、とある記事から、LGBTQ当事者が日本では、約13人に1人いることを知り、当時社員が145名いたが、約11名いるという計算になり、LGBTQに対する知識不足の反省があった。
- **社員全員に対してLGBTQの理解を深めるための研修を、専門の講師を招いて実施。**また、当該社員の前向きな協力の下、**メディアを通じてその理解を求めるよう会社としてメッセージを発信。**
- **同性のパートナーを福利厚生上の「配偶者」として認め結婚祝い金等の対象にしたほか、介護休暇の対象にパートナーの親を含めたり、安心休暇（翌年度へ持ち越せず消滅してしまう分の有給休暇を、傷病の際など利用に限り持ち越すことを認めた独自の制度）の対象にホルモン治療も含めるようにしたりするなど、就業規則も大きく改正。**
- 子の学校行事のために部分的に休暇を取得したいという声に応え、学校行事のための部分的な休暇を認める「学育時間」という制度を制定。その他同様の、「育児時間」や、「介護時間」という制度も存在する。

取組の効果

- **一人一人の声を聞き、多様な人材が働きやすい制度を整えたことで、社員のエンゲージメントが向上。**
- **多様性を尊重する制度改革により、キャリアセンター、自治体、地元の教育機関から注目を集めた。また、新聞社にも取材を受け、「多様性を認める職場」と紙面で取り上げられ、知名度が大きく向上。**
- **中途採用だけでなく、毎年、何人もの新卒採用が継続的にできている。**また、以前は地方からの求人応募が主だったが、近年は県内からも応募も来るようになった。